あなみず
議会だより

2023 vol. 44
令和５年６月1日発行
石川県穴水町議会

令和５年度新嘗祭献穀田御田植式
５月16日（山中・中田芳夫氏の水田）

議員の紹介、議会の組織・・・・・・・・・・2～3
議案一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
新年度予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・5
補正予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・6
常任委員会・予算決算特別委員会・・・・・・・7
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～11

穴水町議員の紹介

４月２３日に行われた穴水町議会議員選挙によって、新人１人を含む１０人が決まりました。
５月８日、初議会が開催され、新たな穴水町議会がスタートいたしました。

みやもとこうじ
①宮本 浩司（１期）
川島

こたに　せいいち
②小谷　政一（２期）
鹿島

さとう　ゆたか
③佐藤　豊（３期）
甲

ゆぐち
④湯口　かをる（３期）
北七海

やまもと ゆうこう
⑤山本　祐孝（５期）
川尻

おおなか　まさし
⑥大中　正司（５期）
川島

いとう　しげお
⑦伊藤　繁男（６期）
川島

こいずみ かずあき
⑧小泉　一明（９期）
中居南

こさか　たかずみ
⑨小坂　孝純（９期）
鹿波

はまさき　おとお
⑩浜崎　音男（１０期）
比良

議会の新体制が決まりました

議長：佐藤 豊

議長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。今般の議長選挙は投票を行い、結果同数となり、抽選で、私「佐藤豊」が議長に就任させて頂きました。

誠に光栄であり、心より感謝し、その責務の重大さを痛感している所です。今後は全力で職責を果たすと共に、穴水町議会の名に恥じぬよう、議会の発展に誠心誠意努めてまいります。

さて、当町のみならず、県下全域、日本全体が抱える少子高齢化、人口減少問題。当町では学校統廃合問題、更には老朽化した穴水総合病院施設整備など数多くの課題を抱えています。議員各位と共に執行部との議論を重ね問題の解決に取り組んでまいります。

今後とも町民の皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げまして就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長：小谷 政一

栄誉ある穴水町議会の副議長に、ご選任を賜り、大変光栄に存じ、心から厚く御礼を申し上げますとともに、その責任の重さをひしひしと実感している次第でございます。

執行部と議会が一体となって、町の発展とコロナで疲弊した経済対策や住民福祉の向上、人口減少、子育て、防災対策など様々な課題に取り組んで行かなければなりません。

副議長として佐藤議長を補佐し、皆様方の力添えを頂きながら、議会の公正かつ円滑な運営と活性化に努めてまいりたいと思っております。

町民の皆様におかれましては、今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、就任の挨拶に代えさせていただきます。

委　員　会　名	委　員　長	副　委　員　長	委　員
総務産業建設常任委員会（定数：５人）	浜崎　音男	小谷　政一	山本　祐孝、　大中　正司、　小泉　一明
教育民生常任委員会（定数：５人）	小坂　孝純	宮本　浩司	佐藤　豊　、湯口　かをる、　伊藤　繁男

委　員　会　名	委　員　長	副　委　員　長	委　員
議会運営委員会（定数：５人）	山本　祐孝	小泉　一明	湯口　かをる、小坂　孝純、浜崎　音男

委　員　会　名	委　員　長	副　委　員　長	委　員
広報編集特別委員会（定数：４人）	小谷　政一	宮本　浩司	大中　正司、小坂　孝純
予算決算特別委員会（定数：10人）	伊藤　繁男	小泉　一明	宮本　浩司、小谷　政一、佐藤　豊、湯口　かをる、山本　祐孝、大中　正司、小坂　孝純、浜崎　音男

輪島市穴水町環境衛生施設組合議会議員	小谷　政一、伊藤　繁男、小坂　孝純
奥能登広域圏事務組合議会議員	山本　祐孝
のと鉄道運営助成基金事務組合議会議員	宮本　浩司

令和５年第１回穴水町議会　３月定例会　議案一覧

会期：令和５年２月27日～３月13日

番号	件名	可否	摘要
議案第１号	令和５年度穴水町一般会計予算	原案可決	全員賛成
議案第２号	令和５年度穴水町国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第３号	令和５年度穴水町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	
議案第４号	令和５年度穴水町介護保険特別会計予算	原案可決	
議案第５号	令和５年度穴水町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第６号	令和５年度穴水町病院事業会計予算	原案可決	
議案第７号	令和５年度穴水町水道事業会計予算	原案可決	
議案第８号	令和４年度穴水町一般会計補正予算（第７号）	原案可決	
議案第９号	令和４年度穴水町公共下水事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第10号	令和４年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第11号	令和４年度穴水町病院事業会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第12号	令和４年度穴水町水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第13号	穴水町個人情報保護法施行条例について	原案可決	
議案第14号	穴水町課制条例等の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第15号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第16号	穴水町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第17号	穴水町医療従事者等修学資金貸与条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第18号	穴水町子育て世代包括支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第19号	穴水町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第20号	穴水町リフレッシュ交流促進施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決	
議案第21号	町営フィットネスジムの指定管理者の指定について	原案可決	
議案第22号	穴水町営ゴルフセンターの指定管理者の指定について	原案可決	
議案第23号	穴水町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	原案可決	
議案第24号	奥能登広域圏事務組合規約の一部変更について	原案可決	
議案第25号	証明書等の交付に係る事務の委託の廃止について	原案可決	
議案第26号	町道の認定について	原案可決	
議案第27号	町道の変更認定について	原案可決	
発議第１号	穴水町議会の個人情報の保護に関する条例について	原案可決	全員賛成
議会報告第1号	例月出納検査の結果報告について		

令和５年度 当初予算の概要

会計		予算額	増減率
一般会計		68億7,300万円	3.4%
特別会計	国民健康保険	10億6,317万円	3.4%
	公共下水道	3億8,768万円	▲9.9%
	介護保険	16億1,364万円	5.8%
	後期高齢者医療	1億7,770万円	3.6%
企業会計	病院事業	30億961万円	7.6%
	水道事業	4億1,266万円	▲57.1%
合計		135億3,746万円	▲0.2%

若い世代が定着し結婚・出産・子育ての希望をかなえる

新 保育料及び給食費の完全無償化
1,788万円

現行の3歳児以上の無償化に加え、2歳児までの保育料を無償化
更に副食費分の無償化のほか、主食費についても無償化

新 子どもの居場所支援整備事業
2,643万円

居場所がない子どもに居場所の確保と生活習慣の形成や食事の提供など総合的に支援を実施

新 出産子育て応援交付金事業
239万円

妊娠期から出産・子育てまで必要に応じた相談・支援と経済的支援を一体的に実施
出産届時：5万円　幼児健診時：2万円

拡 妊娠まるっとサポート事業
470万円

妊娠期から出産期までの必要医療費等を支援
最大25万円→30万円

新 子宝支援治療費助成事業
214万円

不妊治療に対する医療費等の助成
保険適用：自己負担の全額
保険適用外：最大60万円/年度 交通費：最大5万円/年度

新 中学校部活動活性化事業
139万円

生徒の競技力向上、教員の多忙化解消を図るため地域から指導員を配置

魅力を発信し新しいひとの流れをつくる

新 能登鹿島駅周辺整備事業
350万円

景観保全と更なる観光地化を図るための整備

新 朱鷺のさんぽ道周辺施設整備事業
498万円

案内看板等を設置し観光誘客の推進を図る

拡 ふるさと就職促進奨励金事業
212万円

町内事業所に就職した時に助成
要件緩和：対象年齢を50歳以下に
・新規学卒、U･Iターン者就職奨励金
　単身：10万円、その他世帯：20万円
・奨学資金貸与者就職奨励金
・いしかわ移住支援事業（県事業）

いつまでも元気に住みつづけられる

新 多世代交流センター整備事業補助金
1億7,300万円

子どもから高齢者までを繋ぐ地域交流の場を、民間事業者と連携し新たな拠点施設を整備

新 まちなか100円バス運行事業
850万円

実証運行で得た情報を基に、交通弱者の通院や買い物など外出を支援

新 リハビリテーション科の新設
1,735万円

専門医を配置し、患者の身体的及び精神的な機能回復と健康長寿の推進を図る

新 大町西児童公園の再整備
2,000万円

幅広い年齢層に対応した公園空間として再整備

誰もが活躍できる安定した雇用を創出する

新 あなみず町おこし応援事業
350万円

地域の活性化及び住民の協働によるまちづくり活動を支援
・町おこし活動：事業費の1/2以内（最大50万円）
・夢づくり活動：事業費の10/10（最大50万円）

拡 創業者支援事業
900万円

新たに創業する者に対し開業費用の一部を支援
要件緩和：町外居住者も対象
対象事業費の1/2（最大50万円）

拡 農業機械等導入支援事業
416万円

機械の導入により作業の効率化・省力化を図り、営農体制の構築を図る
要件緩和：畑地･経営移譲も対象
購入費の1/3（最大150万円）

新規林業就業者支援事業　99万円

林業の振興と人材育成及び就労意欲の向上を図るため、賃金格差の解消、初期投資費用を支援

新規漁業就業者担い手支援事業
300万円

人材育成と経営リスクの低減、安定化への支援

補正予算の概要【令和４年度３月補正】

一般会計　歳入 / 歳出 ▲177 万円

所管課	主な事業	概要	補正額
いきいき健康課	保健センター事務室空調設備更新事業等	事業完了による精算	▲115万円
観光交流課	キャッシュレス決済ポイント還元事業	事業完了による精算	▲1,514万円
	ミライへカケル商品券事業	事業完了による精算	▲114 万円
	国民保養センター真名井・湯ったり館修繕料	機械設備等の修繕料の不足	132 万円
管理課	庁舎・林業センター電気料	電気料金の値上げ等に伴う不足	200 万円
住民課	出産・子育て応援交付金	妊娠期から出産･子育てまで必要に応じた相談･支援と経済的支援を一体的に実施 出産応援交付金　5 万円 / 人 子育て応援交付金　5 万円 / 人	295 万円
地域整備課	農業委員・推進委員能率給報酬	各委員の活動に伴う事業費の確定	131 万円
	県営農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金（諸橋）	事業費確定による精算	750 万円
	除雪費	管内道路等の除雪費（機械借上料）の不足	3,560 万円
教育委員会	学校給食賄材料費	物価高騰等による不足	200 万円
	のとふれあい文化センター経営支援補助金	電気料金の値上げ、燃料費高騰等の影響に対する経営支援	780 万円
総務課	施設整備基金積立金	穴水中学校用地取得費用の戻入、決算剰余見込みの積立て	14,219 万円
その他、事業費の確定・決算見込みによる補正			▲18,701万円

公共下水道事業特別会計　歳入 / 歳出 ▲965万円

所管課	主な事業	概要	補正額
上下水道課	マンホールポンプ場及び穴水浄化センター設備等更新工事	決算見込みによる補正	▲1,011 万円

介護保険特別会計　歳入 / 歳出 ▲770万円

所管課	主な事業	概要	補正額
いきいき健康課	職員人件費	他会計での予算執行に伴う補正	▲770 万円

病院事業会計 収益的収入 3,994 万円
病院事業会計 収益的支出 6,509 万円
病院事業会計 資本的支出 660万円

所管課	主な事業	概要	補正額
総合病院	医業収益（総合病院）/ 入院収益	決算見込みによる入院収益の補正	4,000 万円
	医業費用（総合病院）/ 材料費等	決算見込みによる診療材料費等の補正	5,960 万円
	医業費用（兜診療所）/ 材料費等	決算見込みによる診療材料費等の補正	144 万円
	施設運営事業費用（老健）/ 材料費等	決算見込みによる診療材料費等の補正	410 万円
	医療機器整備事業	全自動錠剤分包機の導入	660 万円

水道事業会計 収益的収入 ▲3,923万円
水道事業会計 収益的支出 341万円
水道事業会計 資本的収入／支出 ▲48,539万円

所管課	主な事業	概要	補正額
上下水道課	建築物整備費	宇留地浄水場更新及び重要管路更新の計画変更による補正	▲48,675 万円

常任委員会　～主な要望・指摘事項～

総務産業建設常任委員会	委員：大中・山本・佐藤・小泉・浜崎
住宅用防災用品の維持管理について	各家庭で設置している、家庭用消火器や住宅火災報知器の適正管理方法について、住民に分かりやすく周知すること

教育民生常任委員会	委員：湯口・伊藤・小谷・田方・小坂
各種補助事業の町民への周知方法について	各種補助事業の実施にあたっては、対象者のみに周知するのではなく、広く町民へ向け情報提供を行い住民サービスの向上に努めるように
水道事業経営の安定化について	安定した水道水の供給を持続するため、宇留地浄水場及び上野浄水場の施設の長寿命化と建設コスト縮減に努め、水道事業経営の安定化を図って欲しい
町営フィットネスジムの指定管理について	町営フィットネスジムが一般財団法人穴水町文化スポーツ振興事業団を指定管理者として運営されることで、住民ニーズの多様化に効果的、効率的に対応し利用数の増加に努め、行政経費の削減に繋がる事を期待します

予算決算特別委員会　～主な要望・指摘事項～

予算決算特別委員会	委員：小坂・小谷・佐藤・湯口・田方・山本・大中・伊藤・小泉・浜崎
まちなか 100 円バスの運行について	市街地循環バスの実証運行をうけ、令和 5 年度から本格運行となる「まちなか 100 円バス」について、更に検証を図り、令和 6 年度以降運行エリア拡大を検討して欲しい
地区防災マップの住民への周知について	土砂災害対策に係る「地区防災マップ」の作成には、地区の区長をはじめ防災士、協力員などが参加し作成されているが、完成時には対象エリアの住民に周知を図ることが重要であり、自主防災意識の向上に繋げてほしい
要援護者の個別避難計画の作成について	要援護者の個別避難計画の作成は、個人に理解をしてもらい聞き取りを行うことが重要であり大変な作業だと思うが、近隣住民や各団体と協力して進めて行くこと
穴水町林業センターの長寿命化計画について	当施設は、現時点において閉鎖することのできない施設だと思われるので、建物の長寿命化について、検討を行うこと。また、新年度に予算化されているトイレの改修については、早期の着手をお願いする
中学校部活動活性化事業について	中学校部活動に、地域からの指導員を配置する事について、色々な課題があると思うが、生徒の視点に立った解決策を講じるように

一般質問　3月定例会
一般質問　3月定例会

空き家の対策をどうするか

伊藤繁男 議員

吉村町長　協議会を開催し危険空き家の解体を進める考え

農地転用宅地化推進について

問　居住誘導区域における農地転用宅地化推進について問う

答　居住誘導地区内にある西川島地区は、昭和50年に西川島地区土地区画整理事業が実施され地域内の農地では計画的に宅地化を推進している。しかし、居住誘導区域ではあるが奨励金を設けての宅地転用は、農地の適正管理の観点から考えていない。（吉村町長）

県道沿いの空き家対策について

問　町の空き家の状況と対策について問う

答　今年度実施した実態調査では、町の全戸数4575戸のうち、報告を受けた空き家数922戸で、空き家率20．2％でした。来年度は、協議会を開催し危険空き家の解体を進める。（吉村町長）

問　廃屋の解体による県道の1.5車線化について

答　県では、沿線区長で構成する「みちづくり協議会」を平成16年に立ち上げ、車道の拡幅、待避所、見通しの悪い箇所を選定し優先順をもって、平成25年度末までに103箇所を整備した。また、現在も要望があれば継続して工事を行っている。（吉村町長）

問　諸橋・兜地区での県道のバイパス化の現状は

答　令和3年に諸橋区区長会から集落が津波浸水想定区域にあることから、旧能登線を利用し高台を走行する道路ができないか主要地方道能都穴水線の整備と併せて要望があった。県では、来年度岩車地区の道路改良に着手する予定で、進捗状況を確認しながら県に要望していく。（吉村町長）

6次産業の振興について

問　6次産業の振興について問う

答　一次産業者とは別の二次・三次事業者が「穴水町未来づくり支援事業」を活用して新たな加工品開発に取り組んでいる事例があり、民間の活力に期待し支援を行っていく。（中瀬観光交流課長）

町長就任一年のこれからの思いは

佐藤 豊 議員

吉村町長　自らの信念を信じ町民の幸せと町の発展のため進んでいく

問　町長就任から一年が経過し、振り返っての感想やこれからの思いを問う

答　選挙で約束した「すべての世代が暮らしやすい、住みよい環境を、そして、人口の少ない町、規模の小さな町だからこそできる、きめ細かい住民サービス」を基に、13の公約の実現に向け、町民生活の安全安心の確保、未来ある子どもたちに「これからも住んでみたい、住んでよかった」と思われる「まちづくり」を一番に町政運営にあたってきた。今年度は、県内で初となる小中学校の給食費の完全無償化、通学費の完全無償化や児童公園の再整備を行った。また、来年度予算には、「子育て環境の充実」7施策と「教育環境の充実」5施策を提案している。職員には就任時から「民間の発想」をもち、「自ら機会を作り出せ、機会によって自らを変えよ」の精神を浸透させ、一緒に成果を出したいと考えている。これからも、時には厳しい判断や大きな決断を迫られる事もあると思うが、自らの信念を信じ、町民の幸せと町の発展のため進んでいく。（吉村町長）

※一般質問は順不同です。

土石流災害対策事業の3候補地の進捗状況は

小谷 政一議員

吉田地域整備課長　優先度の高い順に県に要望を行う

町道東部中央線の道路改良計画について

問　道路の計画概要と進捗状況を問う

答　山中小又集落入口付近の甲方面の交差点改良と、延長約1040mを920mにショートカットし、カーブ数を7箇所から3箇所、最小曲線半径を60mから210m、最大勾配を6％から4％に修正する計画。進捗状況は、本線の測量、設計業務を終え、建設残土予定地の測量と設計業務、林地開発許可図書の作成を来月末に終える予定。工事着工時期は、今年6月頃予定。令和8年3月の完成を目標。（吉田地域整備課長）

問　道路改良計画における市ノ坂（消雪装置付近）地区の追加について

答　危険箇所としてリストアップしている。縦断勾配が8％を超える区間もあり、4％代に修正する計画で、本事業の進捗を見極めながら第2工区として令和8年度に着手できるよう国と協議していく。（吉田地域整備課長）

問　土石流災害対策事業における3候補地の進捗状況を問う

答　城山地内の「城山川1号」「川島川3号」、比良地内の「粟津川1号」については、調査設計が行われている。更に、鹿波地内の「鹿波2号」についても、事業化に向け地元と調整を行っている。その他の箇所については、優先度の高い順に県に要望を行っていく。（吉田地域整備課長）

新たな避難所の確保はできているのか

湯口 かをる議員

吉村町長　気象庁や県と連携し、避難指示が速やかに出せる体制強化を図る

問　穴水町シルバー人材センターの登録者の処遇改善について問う

答　シルバー人材センターは、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、地域社会の活性化を推進しています。処遇改善については、近年の猛暑日における就業場所での熱中症対策への配慮や複数会員での作業、転落制止用具の装着の徹底など会員が安全安心に就業できる環境作りに努める。また、賃金については、昨年一部単価の改正を行っており、新年度に向けて近隣市町の就業標準単価状況を参考にしながら見直しを予定している。（宮崎副町長）

問　市街地から離れた地域に生活する高齢者への日常生活支援について問う

答　町では、高齢者等在宅福祉サービス事業を実施している。そのひとつ「外出支援バス事業」では、週一回5路線を駅から各クリニックを経由し総合病院までの1往復を運行しており、今年度からは、年齢制限をなくし、利用登録をすれば片道200円で利用可能。現在43名が登録している。その他、地域支え合い訪問事業、配食サービス事業、緊急通報装置貸与サービス事業など高齢者の生活に寄り添った事業を近隣市町の情報も得ながら展開していく。（吉村町長）

問　町独自のトキ放鳥の活動支援と今後の計画を問う

答　能登トキファンクラブによる「朱鷺回廊」完成、佐渡市への視察研修や、トキ放鳥モデル地区に選定された甲地区の皆さんの積極的な活動を通して、機運の高まりを感じている。再び穴水の空にトキが舞う日に向け、県や他市町と足並みを揃えつつ、トキ保護や放鳥の意義、トキを育む環境づくりの重要性を発信しながら、活動されている団体等と連携し取り組んでいく。（荒木企画課長）

問　記録的な豪雨災害発生時における避難所として多世代交流センターは機能できるのか。また、新たな避難所の確保はできているのか

答　県が最大で想定する洪水浸水想定区域の24時間総雨量は813㎜で、小又川が氾濫すると最大約3m浸水し川島大町地区のほぼ全域が浸水する事になり、当センターは洪水時の避難所には適さないが、地震や土砂災害等の避難所としては活用できる。また、新たな避難所の設定については、区域外への避難時間のロスが更なる危険を及ぼす可能性もあることから、堅牢な建物での垂直避難を念頭にハザードマップを作成した。更に、大雨が予想される場合は、気象庁や県と連携し、避難指示が速やかに出せる体制強化を図る。（吉村町長）

一般質問　3月定例会
一般質問　3月定例会

小坂 孝純 議員

穴水総合病院の建設計画の推進は

吉村町長　建物の大規模修繕・建替え・移転等を含め調査研究を行う

少子高齢化について

問 町又は奥能登地区は、県内でも少子高齢化が進んでいる。このことを町はどう考えているか問う

答 出産・子育て家庭への給付、介護・福祉人材の確保のための事業など、様々な経済支援・福祉施策等、対策を講じているが決定的な解決策には至っていない。行政や関連機関、企業は勿論、住民とが一丸となって取り組む必要がある。町ができることは精一杯努めるので、議会の協力をお願いする。（吉村町長）

若者対策について

問 子ども、若者対策に思い切った改革が必要ではないか

答 岡山県奈義町は、令和元年度　日本の合計特殊出生率を超える2.95%となり「奇跡のまち」と言われ、全国から多くの自治体が視察に訪れている。本町でも、平成30年に職員が視察に出向き「経済的支援については劣っていないが、親子が気軽に集える「安心できる居場所」が必要」と報告を受けている。

そして、令和3年には「子育てふれあいセンター」を開設し、更には令和6年度より民間事業者の協力のもと「地域子育て支援拠点施設」を開設し、年間を通して子育て親子の居場所の確保を図ることができる。運営についても、子育て中のお母さんを主体に地域住民がみんなで子育てを応援できる体制づくりが大事だと考えている。

また、保育料の完全無償化、出産子育て応援交付金事業、妊娠まるっとサポート事業の拡充など、子育て環境の充実に努めたいと考えている。（吉村町長）

町の海産資源について

問 町の海産資源を大切にし、増やす対策を推進せよ

答 水産庁では、良好な海域環境の維持と水産資源の回復を図るため藻場造成のハード事業を支援しており、石川県でも投石等で藻場造成事業を推進し、平成18年の古君地区を初めとして2地区で実施した。しかし、藻場の状況は能登内浦海域の内湾域を中心に衰退が見られることから、調査が進められ、令和4年3月に「石川県藻場造成計画（藻場ビジョン）」が策定され、令和13年までの事業計画が発表された。その中には、中居、新崎地区での増殖施設の整備が予定されている。町では、様々な機会を通じて県に要望を行っていく。（吉村町長）

穴水総合病院の建設計画について

問 公立穴水総合病院の建設計画の推進について

答 昭和56年10月に改築され41年が経過し、建物の劣化に伴い防水補修、配管補修などを行い今日に至っている。また、令和3年10月には、経年劣化及び機能劣化に対処するための調査を実施し、今後見込まれる修繕箇所の現状把握を行った。一方、病院内では、院内通路や病室の手狭さ、患者・医療スタッフの動線の改善が必要との認識から、令和5年度予算においては、病院長をトップに病院が果たすべく役割を明確にし、建物の大規模修繕・建替え・移転等を含め調査研究を行う。（吉村町長）

町のPRについて

問 穴水町歴史民俗資料館に保管されている織田信長の直筆の手紙を活用し、町のPRを進めてはどうか

答 当資料館には、織田信長直筆の文書14通が所蔵されており、全国的にも大変珍しく町の貴重な文化財である。近年は、新型コロナの影響から展示会を見送っていたが、町民に知ってもらうことから検討し、社会のブーム等にもアンテナを張りながら町の財産を有効活用し、観光面でもPRを行っていく。（吉村町長）

大中 正司議員

学校統合についてはどうか

吉村町長　進め方を検討している状況である

プルートの休館日について

問 イベントと重なる場合は休館日を振り替える等の対応ができなかったか

答 3年ぶりに開催された「雪中ジャンボかきまつり」の日程と休館日が重なった事で、展示品を見学する機会を奪った事は残念に思います。今後は、臨機応変に対応していく。（吉村町長）

市街地巡回バス実証運行事業について

問 利用者実績及び町民の評価を問う

答 昨年9月15日から1月末で延べ2090人に利用頂き、利用された方々からは高い評価を受けている。今後も多くの町民に利用されるよう周知に努めニーズに沿ったサービスの提供を行う。（吉村町長）

問 タクシー事業者を活用した交通施策に転換すべきと思うがどうか

答 タクシー事業者を活用した乗合タクシーの運行を実施している自治体もある。集落が点在する本町においても有効な施策と考えている。事業者と検討していく。（吉村町長）

問 町中心部以外の外出手段について町長の構想を問う

答 限られた交通資源を活用した施策の検討の中で、現在の公共交通の取り組みや地域の方々とも協力し、持続的で効果的な公共交通サービスを検討し、町民の満足度を高めていく。（吉村町長）

都市構造再編集中支援事業について

問 多世代交流センターの行政機能の補完の意義と役割・責任・費用の分担を問う

答 幼児から保護者、高齢者まで幅広い世代が交流できる新たな交流施設として整備する。町が実施する一時保育の休所日に「地域子育て支援拠点」として開設を行う他、併設する施設内に常時職員が勤務するという強みを活かし、災害時には新たな避難施設としての機能を発揮するなど既存の行政業務を補完することができる。センターの管理・運営については、国の制度に基づき、社会福祉法人が責任を持って行う。（吉村町長）

学校統合について

問 学校統合について現時点での考えを問う

答 12月議会において、請願が可決された事は非常に重いことと理解している。どのような教育環境が町に望ましいのか、一度立ち止まって考える必要がある。現在は、進め方を検討している状況である。（吉村町長）

穴水町議会

2023年（令和5年）6月1日発行

令和５年　議会の動き（１月～３月）

1月	事　業　名	会　場　等
4日	新年互礼会	大ホール
7日	穴水町消防団出初式	大ホール等
8日	穴水町成人式	のとふれあい文化センター
10日	広報編集委員会	委員会室
15日	穴水町女性団体協議会新年の集い	キャッスル真名井
17日	広報編集特別委員会	委員会室
21日	輪島・穴水クリーンセンター竣工式	現地
25日	例月出納検査	委員会室
27日	石川県町村議会議長会臨時総会	金沢市
30日	議員協議会	委員会室

2月	事　業　名	会　場　等
3日	能登地区町議会連絡会臨時総会	宝達志水町役場
21日	石川県市町村消防賞じゅつ金組合議会	金沢市
	石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合議会	
22日	議会運営委員会 / 新年度予算内示会 / 全員協議会	委員会室
22日	遠藤関激励会	キャッスル真名井
24日	例月出納検査	委員会室
27日	議会３月定例会　開会	議　場

3月	事　業　名	会　場　等
3日	議会３月定例会　一般質問	議場
6・7日	議会３月定例会　予算決算特別委員会	委員会室
8日	議会３月定例会　総務産業建設常任委員会	委員会室
	議会３月定例会　教育民生常任委員会	
13日	議会３月定例会　閉会	議場
14日	公立穴水総合病院審議会	公立穴水総合病院
23日	石川県町村議会議長会議長協議会	金沢市
27日	例月出納検査	委員会室

編集後記

5月5日に能登地方を震源とする地震があり、珠洲市で震度6強を観測し、一人の方が亡くなられ、多くの被害が発生しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、早期の復旧・復興を願っております。

災害は止めることが出来ません。災害が発生しても被害を最小減にし、迅速な回復を図る「減災」、「防災」対策を充実させていく必要があります。

なお、5月8日の臨時議会において、正副議長及び各常任委員会などの議会組織が決まり、この広報編集特別委員会も4人中3人が新たな委員となりました。

町民の皆様に、議会活動をいかに分かりやすくお知らせできるか、町民目線に立ち、委員全員で知恵を絞りながら編集していきたいと思っています。

文責　小谷政一

穴水町議会広報編集特別委員会
委員長　小谷　政一
副委員長　宮本　浩司
委　員　大中　正司
委　員　小坂　孝純

発行 穴水町議会　編集　穴水町議会広報編集特別委員会
〒927－8601 石川県鳳珠郡穴水町字川島ラの174番地　TEL0768－52－3700

あなみず 議会だより

町議会記録は
こちらから▶